

安芸太田町の住民や風景にレンズを向けた写真展が、同町加計のギャラリーで開かれている。撮影したのは、町地域おこし協力隊の松岡恵利子さん(41)。昨年度に撮りためた約300枚を展示している。入場無料で、26日まで。(山田太一)

# レンズ越しの 安芸太田の協力隊松岡さん 住民「らしさ」



「協力してくれた方へ感謝の気持ちを伝えたい」と話す松岡さん

## 飾らない表情 300枚展示

長年連れ添う笑顔の夫婦、トラクターに乗る男性、勇壮な舞を披露する神楽団員…。日常の飾らない表情が並ぶ。背景に広がるのはシバザクラや青々とした水田、こいのぼり。雪かき作業の写真など、暮らしの中に息づく自然の姿も伝える。

秋田県出身の松岡さん。2016年春、同町の協力隊員になった。町の公式ファンクラブの運営を担当しホームページ(HP)や会員制交流サイト(SNS)、会報誌で町の見どころを発信してきた。

昨年度、制作したのが住民の写真を添えた「日めくりカレンダー」。活動を通じて実感したのは、住民の温かさだった。はじらいながらも「ええよ」とモデルになってくれるお年寄り。友達を紹介してくれたら、野菜を

持たせてくれたり。松岡さんはたくさん会話をしながら相手の自然な表情を引き出し、「その人らしさ」にこだわった。

300人以上を撮影。HPで公開したり、印刷して町役場に置いたりしたところ「恩師が写っていて、会いに行ったら」「知人が元氣そうで良かった」などの感想が寄せられたという。

写真展は活動報告を兼ねて開き、A4判にプリントした。松岡さんは「町の魅力は何かを考えると、この地域を守り、暮らす人だと気付いた。写真展が人と人を結ぶ機会になればうれしい」と語る。

写真展はギャラリー「mm project(エムエム プロジェクト)」で、午前10時～午後5時。22、23日は休み。☎0826(22) 6777。